

て ん 末 書

会議等の名称	第1回幌延町まち・ひと・しごと創生会議
--------	---------------------

実施年月日	平成28年6月22日	場 所	幌延深地層研究センター 国際交流施設多目的ホール	時 間
				18:30～20:30

出席者	計46名（詳細は別紙参照）
	委員～18名 オブザーバー～12名 町～11名 委託業者～2名
	一般参加～2名 プレス～1名

議事次第	
1.	開会～野々村町長あいさつ
2.	自己紹介～委員、オブザーバー、事務局
3.	委員長・副委員長選出
	○委員長：一関捷治氏 ○副委員長：高橋秀之氏
4.	諮問～計画策定について、町長から一関委員長へ諮問
5.	幌延町地域振興（観光）計画策定方針（案）について～承認
	本会議の位置づけ、策定方針（案）の説明（事務局）
6.	幌延町地域振興（観光）計画策定プロセスについて ※
	計画検討の経緯、計画策定に向けた調査・検討、策定までのプロセスの説明（事務局）
7.	町民アンケート結果（速報）について
	速報集計結果の報告
8.	検討ワークショップの開催について
	第1回検討ワークショップを7月6日（水）に開催
9.	子どもの意見を収集するためのコンテストの実施について ※
10.	その他
	幌延町の観光について（アンケート調査項目に関する補足意見等の聴取） ※
	※ 質疑等～別紙議事概要による

— 議事概要 —

2. 幌延町地域振興（観光）計画策定プロセス（案）について

（委員）

- ・観光入込数をどのようにカウントするか分からないが、鉄道系観光客の年間数が年間 500 人は非常に少ないように感じる。5,000 人を目指しても良いのではないか。今後も秘境駅のイベント等を実施する上で、目標は高く設定し、より高みを目指す必要があると思う。

（事務局）

- ・目標を設定した際には、ゼロからのスタートであり、どの程度の入込が見込めるか分からなかったため、目標を 500 人と設定した。昨年度の各種イベントで年間 500 人の目標は、ほぼ達成されており、現在の目標はクリアし、先に進めて行きたいと思う。

（委員）

- ・5 年間、毎年 500 人と設定し、伸び数を見込んでいないのは、廃駅になることを見込んでいるのか。

（事務局）

- ・500 人を目標として 31 年まで続けること自体が手さぐりだったため、安定して入込できるように取組みは進めて行きたい。

（委員長）

- ・総合戦略では新規のため基準無しとなっているため、500 人として目標を設定した。28 年度に、みなさんと議論をしていきたい。

9. 子どもの意見を収集するためのコンテストの実施について

（委員）

- ・小中学生を対象としており、学校と連携することで周知や意見の収集が可能であるが、子どもとして高校生は対象にならないのか。町内には高校は無いため、周知は難しいかもしれないが、広報等で高校生に対して、コンテストを案内することを考えても良い。今後は、若者に幌延に戻ってきてもらうことも考える必要があるため、若者の声として高校生についても対象とし、コンテストを開催した方が良いのではないか。

（事務局）

- ・高校生も対象として反映させていきたい。

<幌延町の観光等について>

（委員）

- ・パンケ沼は夕陽が美しく、その夕陽を見に来るお客さんもいる。下沼に春と秋に飛来する 6000～7000 羽のオオヒシクイをはじめとして、たくさんの渡り鳥を見せるツアーも考えられる。ビジターセンターの長沼付近には、カキツバタ等の花々が咲くため、旬の花々を見せられるようにする。豊富と幌延でサロベツ湿原の環境は違うため、幌延でもサロベツを見せられる工夫をし、連携して行ければ良いのではないか。

(委員)

- ・子ども達に冬のお祭りが無いと言われる。何年か前に雪合戦があったが、今は行われていない。町としてイベントを実施して頂けないか。この場でも話しあって頂きたい。

(事務局)

- ・過去に行われた冬のイベントは色々な事情により、開催されなくなった。冬のにぎわいが欲しいのご意見は貴重な意見だと思う。今後、計画を策定する中で検討頂ければと思う。継続するためには行政のみではなく、町民のみなさんの力が必要となり、みんなで楽しく作り上げることが出来れば、継続できる。みなさんと議論したいと思う。

(委員長)

- ・観光に資する取組みをするということで、今後、活発な意見を交わして頂きたい。

(委員)

- ・観光資源と呼べるか分からないが、秋味の産卵は見事であり観光になるのでは。

(委員)

- ・若い世代はほぼインターネットで情報検索しているが、インターネットを調べた際に、幌延町の情報が少ない。食堂も出てくるが、定休日程度の情報で、営業時間やメニュー等の詳細が分からない。例えば、町内の飲食店などは、営業日やメニュー等の情報を一律で整理し、発信した方が良い。また、役場のホームページで飲食店一覧を整備して発信する等し、情報発信すれば良いと思う。

(委員長)

- ・その部分については私も同感である。

(委員)

- ・外の人的一次来ってもらうことが大事である。オロロンラインからの利尻富士やサロベツ原野の風景等を求めて、2度・3度と来ている人もいる。一度、幌延に来て、素晴らしさを知って幌延のファンになってもらえれば、もう1度来たり、知り合いを連れてきたりすることが期待できる。外から人を呼べるようなイベントをたくさん開催しては？

(委員)

- ・映画を撮影する場所の紹介や行政として撮影の許認可をサポートするフィルムコミッションという取り組みがある。仕事柄、ロケ現場にお弁当を配達したことがあるが、自分も行ったことのない素晴らしい景色があった。頭の片隅にとめて頂ければと思う。

(委員)

- ・以前はトナカイ牧場、地層研究所しか無いと思っており、観光イコール幌延町のイメージが無かった。お祭りで人を呼ぶだけでは意味が無く、地域の消費に繋がっていかないと意味が無い。地域の食材を使った、ご当地グルメ、B級グルメを考えていけたら良い。みんなで検討していきたい。

(地域おこし協力隊)

- ・秘境駅フェスタ等を実施しているが、今ひとつインパクトが弱い。恒久的に人を集めて行かなくてはならないと感じている。簡易軌道の遺構を活用や、下沼には湧水やパンケ沼もあることから、秘境駅と一緒に売り込めないかと考えている。湧水も水が飲めるだけではなく、名山台と結び付けて、湧水公園にする等が出来れば良い。昔あった湧水には蛍がいたようである。それを再現することも考えている。全てをまとめて考えると、駅名の改称も考えて行ければと思っている。改称の可能性について

駅長にお聞きしたい。

(オブザーバー)

- ・運輸局も関係し、さらに全国のシステムに駅名が登録されているため、そちらの変更も関係することから、かなり厳しいと思う。本社に確認してみる。

(地域おこし協力隊)

- ・百合が原公園はトロッコに乗って、花が見られるようになっており人気を博している。幌延のノースガーデンでも同じようなことが出来ないか検討したい。幌延町らしく、トナカイにトロッコを引かせる等も考えられる。

(委員長)

- ・この場では、答えの方向性も見えないため、駅名の改称については、事務局で駅長さんと交渉し、調整頂きたい。

(オブザーバー)

- ・小中学校、高校生にアンケートを取るようであれば、どんなものがあれば良いか。どうして欲しいという希望も把握して欲しい。地元の人が集まる場所が無いと、外の人も集まらないのでは無いか。

(委員)

- ・幌延は町の外に美しい景色等があるが、町中には何もない。町中には名林公園があるのみ。名林・名水公園になれば親子も遊べて、水も飲める。さらに蛍がいればさらに良い。冬には水を使って、アイスキャンデルを作ることできる。人が見にくる町になるのではないか。町の中に水が湧いていれば、災害でも強いまちになる。町中に人が集まるようにしたい。

(委員)

- ・稚内には観光客が順調に来ているようだが、稚内に来た観光客は利尻・礼文やサロベツ、豊富、猿払に立ち寄って帰る方が多い。幌延は豊富から車で、わずか 10 分程度で来られる。何かがあれば必ず人は来る。今ある何かひとつでは、幌延に来ないと思うが、例えば、スタンプラリーで巡ると、マスコミに取り上げられる特別なプレゼントがもらえる等の取組みを行えば、観光客が興味を示すことも期待できる。

(事務局)

- ・過去に宗谷総合振興局が宗谷管内で、有名な漫画家の絵がもらえるスタンプラリーを行ったことがある。幌延に置いてある台紙も無くなるほど、人気だった。最近、観光はひとつの町では賄いきれない風潮にあり、隣の町や宗谷管内で考えると大きなことも検討できる。

(委員)

- ・幌延の観光スポットとしてトナカイ牧場がある。今のままでは、トナカイ牧場を訪れた方から落胆の声がでている。将来の展望が必要で、今後もトナカイ牧場を観光の場所として位置付けるのであれば、整備する必要がある。青いケシであれば、雑草の除草やたくさんの苗の植え付け等が必要で、今後も続けていくのであれば、大々的な整備が必要だと思う。他の町では、町民が行政と一緒に、そのような場所を守っている。幌延町でもクリーン作戦は 10 年以上根付いている。町民の力を借りて、草刈りや植え付けを行うほか、青いケシの廻りに花畑をつくり、季節ごとに見せる工夫をする等が考えられる。また、来訪者に町内飲食店の割引券を配る等し、町内の経済につながる仕組みづくりが必要と考える。

(委員長)

- ・これについては、みなさんでどうすれば良くなるか検討したい。

【会議後要望】

(委員)

- ・町民アンケートの設問6、7で理由をしっかりと記入している人が勧める場所、資源、風景、食べ物を抽出した集計を知りたい。※ただ列挙するのではなく理由を記入するほどしっかりとした考えをもった回答を重視したいため。

(オブザーバー)

- ・アンケートは町内在住者だけではなく、HPなどを活用し町外の視点で広く募るべき
- ・下沼湧水の活用
- ・コアな層に迫るツアー企画
- ・エージェントに知られざる幌延の魅力売り込み